

# コンチェルトの饗宴

## vol.2

指揮 **古谷誠一** (セントラル愛知交響楽団正指揮者)

管弦楽 **セントラル愛知交響楽団**

**加藤佑** ウェーバー作曲 ファゴット協奏曲へ長調 op.75

**大貫亜以** ソプラノ マスカーニ作曲 アヴェ・マリア  
マスカーニ作曲 歌劇「友人フリッツ」より“このわずかな花を”  
プッチーニ作曲 歌劇「ラ・ボエーム」より“私の名はミミ”  
プッチーニ作曲 歌劇「修道女アンジェリカ」より“母もなしに”  
ヴェルディ作曲 歌劇「運命の力」より“平和をあたえたまえ”

**山路真里奈** ソプラノ

ベッリーニ作曲

歌劇「夢遊病の女」より“愛する仲間たち～なんと晴れやかな”

ベッリーニ作曲 歌劇「カプレーティとモンテッキ」より“ああ幾たびか”

ドニデッティ作曲 歌劇「ドン・パスクワーレ」より“あの目に騎士は”

**秀平雄二** ピアノ ラフマニノフ作曲 ピアノ協奏曲第2番ハ短調 op.18

2022年 **10月2日(日)**

開演13時30分(開場12時30分)

**四日市市文化会館 第2ホール**

**入場料／全席自由席** 四日市市文化会館で発売中

一般席 3000円(当日3300円)／学生券(4歳～高校生) 1000円(当日1200円)

チケットお申込み 西村 ☎080-4222-3566

Email:kunikuni551@msn.com FAX:0594-21-0724

四日市クラシックファンクラブホームページ(詳細は <https://classic.cloud-line.com/>)

主催／四日市クラシックファンクラブ セントラル愛知交響楽団を応援する「友の会」



## 古谷誠一 / 指揮 (セントラル愛知交響楽団正指揮者)

東京大学文学部卒業。在学中から桐朋学園オーケストラ研究生(指揮専攻)として、指揮を秋山和慶、堤俊作、尾高忠明の各氏に、作曲・ピアノを故・矢代秋雄、三善晃、末吉保雄の各氏に師事。二期会中四国支部のモーツァルト「魔笛」公演を指揮して指揮活動を始める。以降、長門美保歌劇団の「チャルダッシュの女王」、日本バレエ協会での「パヤデルカ」「シェヘラザード」、日生劇場での東宝ミュージカル「マイ・フェア・レディ」など活動の場を広げている。「ドン・ジョヴァンニ」「ボエーム」「椿姫」などのオペラから「サウンド・オブ・ミュージック」「アニー・ボートメイ」などのミュージカル、「カルミナ・ブрана」、「プリテン」の「戦争レクイエム」、ヤナーチェクの「グラゴール・ミサ」、ヴェルディ、ベルリオーズの「レクイエム」などの大掛かりな舞台作品まで、手がけた作品はあらゆるジャンルにわたっている。また、7年間にわたって日本オペレッタ協会の定期公演を手がけ、その間「ルクセンブルグ伯爵」「マリツァ伯爵夫人」「白馬亭」「微笑みの国」など、日本で演奏されることの少なかったオペレッタを数多く指揮して高い評価を得る。東京フィル、東京シティフィル、新日フィル、九州交響楽団、関西フィル、N響団友オーケ、名古屋フィルなど数多くのオーケストラを指揮。1997年10月にはカーネギーホールにて、オペラ「日本の夜明け」(演奏会形式)をセント・ルークスオーケストラ・ニューヨークと共演し、賞賛される。2003年10月には韓国初のオペラハウスにおいて、オープニングフェスティバル「マダム・バタフライ」を指揮して大成功をおさめる。2005～2006年、ボローニャ歌劇場にて研修。2008年4月に馬山市立交響楽団を、5月にはブダペストでショルティ記念オーケストラを指揮。また、落語家 春風亭小朝、宝塚トップメンバー、東儀秀樹、松崎しげると組んだ音楽会も好評を博す。現在、名古屋芸術大学名誉教授、セントラル愛知交響楽団正指揮者。



## 加藤佑 / ファゴット

名古屋芸術大学音楽学部卒業、同大学院音楽研究科修了。第4回横浜国際音楽コンクール一般の部第1位。2011 岐阜国際音楽祭コンクール大学一般の部第2位。第21回 KOBE 国際音楽コンクール木管部門優秀賞、神戸市民文化復興財団賞。名古屋芸術大学音楽学部同窓会より Golden Prize 受賞。2013年日演連主催新進演奏家育成プロジェクトオーケストラシリーズにてダーヴィッドのコンチェルティーノを名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演、2021年神戸学友協会主催コンサートにてモーツァルトのコンチェルトを神戸学友協会祝祭オーケストラと共演。これまでにファゴットを伊藤武、依田嘉明、北川陽子、前田信吉、大津敦の各氏に師事。名古屋アカデミックウインズ団員、木管五重奏 Ensemble ALK メンバー。



## 大貫亜以 / ソプラノ

日本大学芸術学部音楽学科声楽コース、同大学院博士修士修了。修士芸術学学位取得。名古屋二期会研究生修了。大阪クラシックコンクール大学一般の部第1位、大阪市長賞、西宮市長賞受賞。京都文化祭カコンクール大学一般の部第1位、京都市長賞受賞。みえ音楽コンクール一般の部第1位、岡田文化財団賞受賞。あおによし音楽コンクール奈良一般最上級第1位、声楽総合第1位、津市長賞受賞。名古屋 international 音楽コンクール第1位、全部門総合グランプリ。ベートン音楽コンクール全国大会第1位。その他多数コンクールで入賞。京都平安神宮本殿神殿上皇陛下米寿御誕生日献奏会にて歌う。海外、国内で多数オペラ、コンサート、ラジオ、TVに出演。新聞、雑誌に多数掲載。四日市近鉄文化サロンポイトレ講師。四日市、鈴鹿市の保育園歌唱指導。鈴鹿グリーンホーム音楽療法士。声楽を斉藤立美、故丹羽勝海、やまもとかよ各氏に師事。

## 山路真里奈 / ソプラノ

セントヨゼフ女子学園卒。名古屋芸術大学音楽学部演奏学科声楽コース卒業、同大学院音楽研究科声楽専攻首席修了。第38回読売中部新人演奏会、第36回、第39回新人演奏会 in いが、第24回みえ音楽コンクール入賞者記念演奏会に出演。第24回みえ音楽コンクール2位および岡田文化財団賞受賞。2021年にサラマンカホール主催のオペラ「不思議の国のアリス」アリス役で出演。その他にオペラ「不思議の国のアリス」ユリの花、「子供と魔法」子ども、「魔笛」クナーベ、オペレッタ「こもり」アデーレ、「メリーウィドウ」ヴァランシエンヌ役などで出演。声楽を松波千津子氏に師事。現在、三重大学教育学部附属小学校非常勤講師。



## 秀平雄二 / ピアノ

名古屋芸術大学音楽学部卒業、同大学院音楽研究科修了時に理事長賞受賞。日本ピアノ教育連盟オーディション全国大会において、最優秀演奏者に贈られる萩原和子賞を受賞。日本クラシック音楽コンクール全国大会第1位及びグランプリ。山田貞夫音楽財団音楽賞特選他受賞多数。名古屋市民芸術祭、岐阜国際音楽祭、日伊親善交流演奏会など多数の演奏会に出演。ソリストとして、ベートーヴェン/第3番、第5番「皇帝」、合唱幻想曲、グリーグ、ショスタコーヴィチ/第1番、ラフマニノフ/第2番、バガニニ狂詩曲を国内外のオーケストラと共演。アンサンブルピアニストとしても数多くのアーティストから信頼を得ており、参加したCDはレコード芸術誌において準特選盤に選定されている。またアウトリーチ公演やラジオ出演等幅広く活動している。車谷徳子、田中航造、中沖玲子の各氏に師事。三重混声合唱団あんだあれ70、女声アンサンブル Marimo 座各ピアニスト。名古屋芸術大学非常勤講師。



## セントラル愛知交響楽団 / オーケストラ

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオンシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。2022年度はアソシエイトコンダクターとして阿部未来、松川智哉を迎える。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ベンクラブ賞」受賞。2022年度からは「超!有名曲シリーズ」を含む新たなシリーズをスタートし、2023年の40周年に向け意欲的な試みを企画している。

ご案内

第11回 ニューイヤーコンサート 2023

●日時 2023年1月7日(土) ●会場 四日市市文化会館

四日市市  
文化会館で  
発売中

●くわしくは  
四日市クラシック  
ファンクラブ

